

# 審査員からのコメント

「フィッシュガール」というキャッチーかつインパクトのあるネーミングによる実践事例といえる点、しかもそうした取り組みを単発で終わらせずに積み重ねている点が評価の対象となった。また、解体ショーの販促効果について、データに即して確認できている点も興味深い。「見せる」取り組みの重要性を改めて実感した次第である。こうした取り組みからは、水産業と観光業を結びつけるうえでのヒントを見出すこともできるのでなかろうか。ただし、取り組みから得られたエビデンスの分析による地域課題の解決というよりも、むしろ活動内容の報告に終始しているように見える点には、一抹の物足りなさも感じた。

